



あつぎ 元気Wave
12/1~CATVで放送

障がい者相談支援センターでは、障害福祉サービスの利用や、子どもの発達・医療的ケアに関することなど、さまざまな相談を受け付けている

地域での身近な相談役

民生委員・児童委員が、障害のある方や高齢者、子どもなどの諸問題の相談を受けています。お住まいの区域の委員の氏名や連絡先などはお問い合わせください。

☎福祉総務課 ☎225-2200

役立つ情報が満載 障害福祉制度の 冊子を配布中

障害のある方やその家族が利用できる福祉サービスをまとめた冊子を配布しています。

《内容》 支援・相談窓口・手当などの情報
《配布場所》 障がい福祉課、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所

☎障がい福祉課 ☎225-2221



市HPにも掲載

Zoom Up

誰もが住みやすい社会に 障害福祉サービスを充実

市では、障害の有無に関わらず互いを尊重し、共に生きる社会を実現できるよう、障害への理解の促進や相談支援体制の整備などに取り組んでいます。4月からは新たに、地域に根差した相談窓口を増設しました。

気軽に相談できる窓口を充実

障害のある方が地域で安心して生活できるよう、2016年から障がい者相談支援センターを設置し、日常生活の不安や悩みなどの相談を受け付けています。最近では感染症の影響で生活や就労などの不安を抱える方が増え、相談窓口の需要は年々増加傾向にあります。21年度の市障害者支援相談件数は4万3214件で、前年度より約7千件増えました。市ではこうした状況を受け、4月から障害のある方や家族を身近な場所で支援する障がい者相談支援センターを増設しました。

既存の6カ所に加え、新たに増設したのは「相川・厚木南」と「睦合」の2カ所。各センターの相談員も1人ずつ増員しました。地域の相談窓口を増やすことで、市役所に行くのが困難な方も身近な場所で相談できる環境を整えました。相川・厚木南障がい者相談支援センター職員「堺桂一朗さん(41)」は「開設してまだ半年ほどだが、地域の皆さんとのつながりが徐々に増えている。今後も気軽に立ち寄って相談で

地域でのメンタルをサポート

誰もが住みやすい社会にするためには、地域で声を掛け合い、相談内容に応じて適切な窓口や機関につなげることも重要です。各地域の民生委員は、日頃から住民の相談に応じ、見守り活動をしています(左上欄参照)。視覚障害者に点字や音声で情報提供するボランティア団体もあります。市ではこうした地域で活動する委員や団体をサポートし、支援の輪を広げています。

障がい福祉課 ☎25-2221

発達に心配のある児童の相談を受け付ける児童発達支援センター「ひよこ園」や、企業・団体が障害者就労施設に業務を依頼する際の仲介役となる「てとて」など、ライフステージに沿った窓口を設置し、誰もが暮らしやすいまちへの取り組みを進めています。

障害者週間イベント

手作り製品の 展示・即売会

市内の事業所で働く皆さんの手作り製品を手にとってみませんか。

- 《日時》 12月5~8日 10時30分~14時
- 《場所》 市役所本庁舎
- 《内容》 市内の事業所で働く障害のある方が作ったアクセサリー・ポストカードなどの展示・販売

☎当日直接会場へ。製品は市まるごとショップ「あつまる」でも販売。

詳細はこちら

障がい者作品展示コーナーがリニューアル

12月1日から作品の一部が入れ替わり、展示コーナーが生まれ変わります。手作り製品は直接購入もできます。

- 《展示時間》 10~19時
- 《展示場所》 市まるごとショップ「あつまる」

☎障がい福祉課 ☎225-2221

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種情報

※情報は11月15日時点

接種券が手元にあり希望する方は予約してください。インフルエンザワクチンと同時接種が可能です。

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

■オミクロン株対応ワクチン接種

《対象》 12歳以上で初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方

《ワクチンの種類》

- 個別接種 ファイザー社製
- 集団接種 ファイザー社製・モデルナ社製

※予約方法や実施医療機関、接種券の発送時期などの詳細は市HPに掲載。

オミクロン株
対応ワクチン接種

■ノババックスの3~5回目接種

市内の4医療機関で実施
《対象》 18歳以上で最終接種日から6カ月経過した方
※11月8日以降にノババックスの3~5回目接種した方は、オミクロン株対応ワクチンを接種できません。

ノババックスの
3~5回目接種

■12歳以上の初回接種

個別接種で実施中。初回接種後、オミクロン株対応ワクチンを希望する方は年内に接種してください。